

課題 5 ニホンジカ囲いわなに関する研究

(開発期間：平成 22 年度～平成 23 年度)

試験開発目的

近年ニホンジカによる造林地等被害が多くなり、また、食害によりミヤマクマザサ等が大量で枯損し土砂流出等の懸念も深刻化するなど、生態系にも甚大な影響が出ていることから、ニホンジカの頭数調整(捕獲)が喫緊の問題となっています。

従来からよく採用されている「くくりわな」では、希少動物(ツキノワグマ・ニホンカモシカ等)を誤捕獲するおそれがあるため、「くくりわな」等が設置できなかった地域においても簡易に設置でき、効率的に捕獲可能な「ニホンジカ囲いわな」を開発するため、基本的な研究を進め、ニホンジカの頭数調整に資する技術開発に取り組んでいます。

試験地

四国内の国有林で実施中。

試験内容

ニホンジカは複数で移動する習性から複数同時に捕獲できるゲート遅延閉鎖システムの開発やニホンジカがわなに入りやすい囲いわなの形状の検討、最適な誘引方法や給餌時期等のわなの運用方法の試験・検討をしています。

試験結果(継続中)

現在、囲いわなの設置場所、ゲート遅延閉鎖システムの開発等を開発中です。



写真 仁尾ヶ内山試験地(鉄製柵)



写真 土佐矢筈山試験地(ネット柵)